

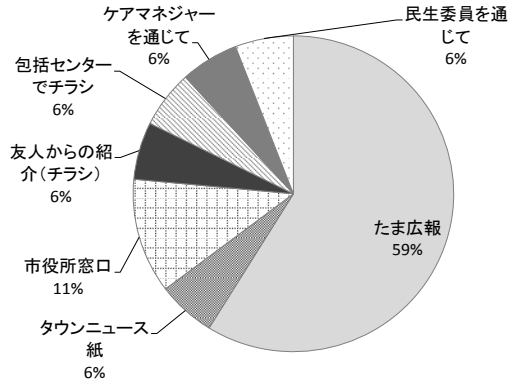
I 相談会概要

■内容

別紙、チラシ参照

■周知方法

- ・多摩市介護支援専門員連絡会へチラシ配布
- ・民生委員へチラシ配布
- ・各地域福祉推進委員会へチラシ配布
- ・地域包括支援センターへチラシ配布
- ・多摩市公式ホームページによる周知
- ・たま食ねっと(子ども食堂を行っている団体のネットワーク)にメール送付
- ・タウンニュース紙(8/3)・たま広報による周知(8/20号)
- ・庁内関係課へチラシ配布・窓口設置



■設置相談ブース

種類	協力機関	対応人員
①民間賃貸住宅	(公社)東京都宅地建物取引業協会南多摩支部	2名
②民間賃貸住宅	(公社)全日本不動産協会東京都本部多摩南支部	2名
③公的賃貸住宅	UR都市機構	2名
④公的賃貸住宅	東京都住宅供給公社(JKK)	2名
⑤福祉制度等	多摩市社会福祉協議会	1名
⑥受付等	多摩市	6名

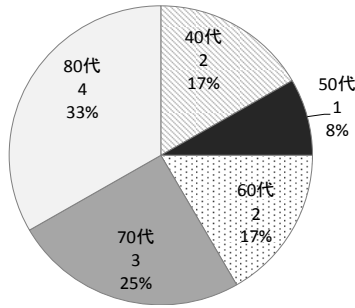
II 相談者概要

①相談者概要・属性

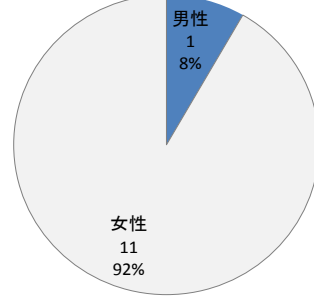
■来場者数等

- ・申込者数 17名
- ・予約者数 14名
- ・当日来場者数 12名
- ➡当日欠席 2名
- ➡当日申込み なし

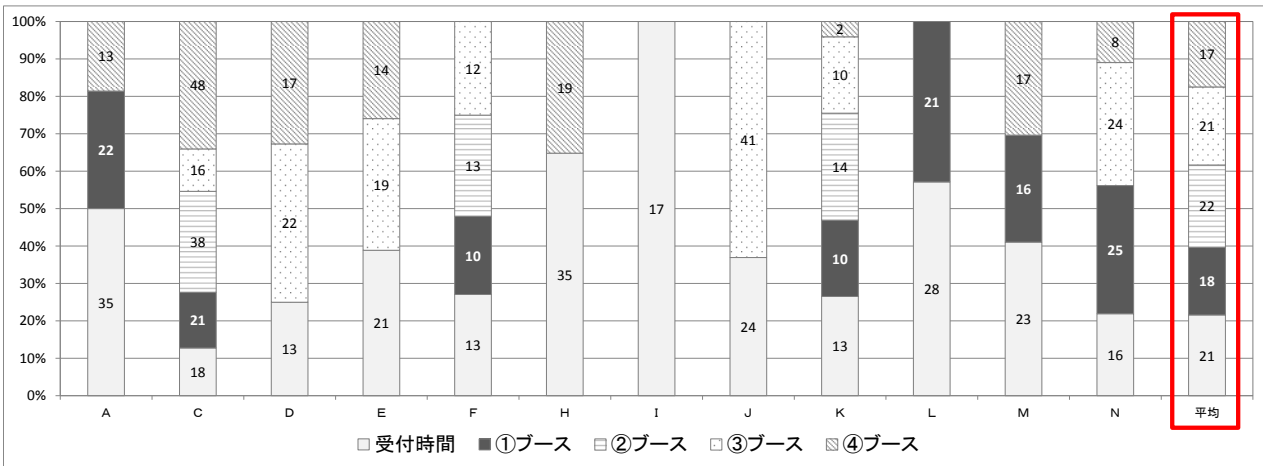
■年齢層



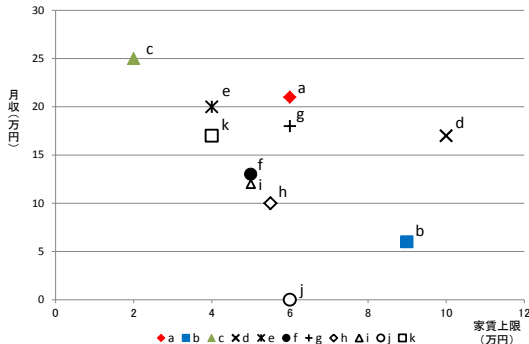
■性別



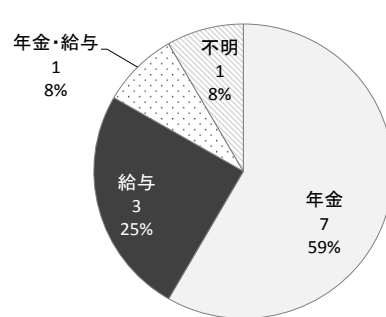
■各相談時間・平均相談時間



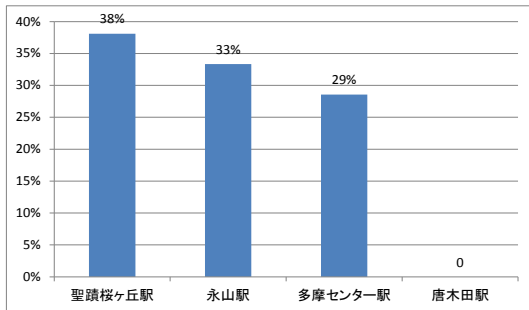
■各相談者 支払える家賃上限及び収入(月収)との関係



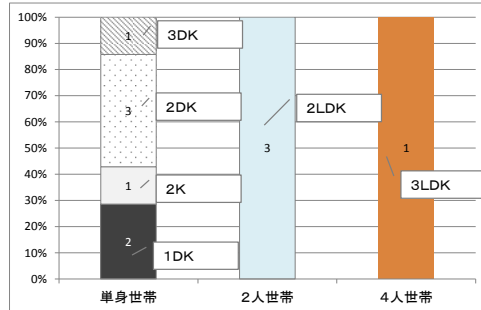
■収入の種類



■希望する最寄駅



■世帯人員と希望する間取り



②主な相談概要

- ▶ 都営住宅が当たらない
- ▶ 都営住宅が当たらなかった場合に備えて
- ▶ 今の家賃より安い住宅に住みたい
- ▶ 広さより安い住宅が良い
- ▶ 公的賃貸住宅の制度などよく分からない
- ▶ 公営住宅を希望しているが、民間賃貸、公的賃貸も聞いてみたい
- ▶ 将来を見据えて相談したい

Ⅲ 結果の分析

■相談者の主な傾向

- ・60代以上の高齢者が75%を占めている。(収入の種類も「年金」が約6割と最多)
- ・公営住宅の所得基準内の方が約半数(42%)であった。※口頭で確認した概ねの月収又は年収のため推測
- ・単身での住まい探しが最多(58%)で、希望する間取りは1DK～3DKと幅があるものだった
- ・希望する最寄駅は、聖蹟桜ヶ丘駅が最多、次いで永山駅、多摩センター駅の順。(開催場所の要因もある)
- ・希望する設備等では、高齢者が多かった要因か、1階を希望するが約半数を占める。
- ・住宅を所有されている方の相談が4名(33%)あった。うち2件はマンションの建替えが検討されているための住替えであった。
- ・受付、各ブースでの平均所要時間は20分程度

■課題

- ①より詳細なヒアリング。例えば、収入状況について、実際の生活費としては現実的には厳しいと考えられる回答や受付の段階で回答を敬遠する方もいたため、聴き方の工夫が必要。
- ②受付での交通整理。今回は、申込みの段階及び受付で収入状況を伺った結果、賃貸を借りることが難しいと考えられる場合は、相談しても期待した回答が得られない可能性を説明した上で、相談を希望する場合は、相談ブースへご案内。また、同時に福祉制度(生活困窮者自立支援制度、生活保護制度)の説明を行い、市役所への相談も案内。
- ③紹介できる物件がなかった場合のフォローが必要。例えば、希望条件の変更などを促す。

Ⅳ 当日の会場の様子



会場前面



受付状況

Ⅴ その他

- ▶ 住まい探しでお困りの方を対象にした福祉なんでも相談について、9月5日より受付を開始し、本日時点1件の利用があった。
- ▶ 相談の概要としては、「今より狭くても構わないので、安い家賃の住宅を探したい」であった。